

平成31年度

# 入学試験問題

# 国語

---

※試験開始のチャイムや合図があるまで開かないこと

## 〔注意事項〕

1. 問題用紙は、12ページまでである。
2. 解答は、すべて別紙の解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 解答用紙への記入は、試験開始後に記入すること。
4. 解答用紙には出身中学校・受験番号・氏名を必ず記入すること。
5. 試験開始の30分後から退場はできるが、解答用紙は必ず裏返して退場すること。
6. 問題用紙は、各自で持ち帰ること。

常磐高等学校

次は、勇太くんがラグビーワールドカップ2019日本大会のホームページ【公式ボランティア】を見て、祖父と話をしている場面である。これらを読んで、後の各問に答えよ。

### ラグビーワールドカップ2019日本大会ボランティア

ラグビーワールドカップ2019日本大会ボランティア「TEAM NO・SIDE」。ボランティアプログラムの参加者には、世界中から日本を訪れる方々を温かいホスピタリティで迎え、ラグビーの価値と母国の魅力を伝える大会の顔として活躍いただきます。

アジアで初、歴史的な大会となるラグビーワールドカップ2019において、より多くの方にボランティアに参加することの意義や魅力を感じて頂き、さらにボランティアプログラムを通して、日本やラグビーの素晴らしさを発信して頂きたいとの思いから、日本ラグビーが育んだ「ノーサイドの精神」をコンセプトとし、プログラム名を「NO・SIDE（ノーサイド）」と決定しました。

NO・SIDEとは、ラグビーの試合終了後にレフリーが用いた用語でした。その言葉を、日本ラグビーの先人たちは「ラグビースピリット」に重ねました。どんなに激しく戦っても、試合が終われば称え合い、感謝し、永遠の友情を誓い合うスピリットのことです。ラグビーワールドカップのボランティアチーム「TEAM NO・SIDE」には、日本ラグビーが大切に育んできたノーサイド精神を「ア」し、世界はひとつであることを発信する、そして、世界的ビッグイベントを成功に導いて欲しい、そうした想いが込められています。

（ラグビーワールドカップ2019 日本大会ボランティア公式HPによる。一部改変）

（注）ボランティア：自発的に無償の奉仕活動をする人々      ホスピタリティ：思いやり、心からのおもてなし

コンセプト：観点、思想、テーマ

スピリット：精神



おじいちゃん、公式ボランティアに応募したって、本当？

本当だよ。ラグビーのワールドカップが、初めて日本で開催されるんだ。しかも、開催地の一つにここ福岡が選ばれた。学生時代、ラグビー一色だった私は、何らかの形で大会に関わりたいたいと思って応募したんだよ。

どんなことをするの？

それはまだ決まっていらないんだ。まあ、こちらが落ち着いて物事に動じず、どっしりと構えていれば、どんな仕事だろうとうまくいくはずだ。

ふうん、なんだか楽しそうだね。ほくもボランティア、やってみたいな。

近頃は、自然災害からの「イ」に向けたボランティア活動が、一般の人たちにも広く浸透してきたよね。できる範囲で、できることをして、それが誰かの役に立つ喜びを勇太にも知ってほしいと思うよ。

問一 「価値」と同じ構成の熟語を、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 災禍
- 2 至福
- 3 腐臭
- 4 奨学

問二 「意義や魅力」の「魅」を楷書で書いた場合の総画数と、次の1～4の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、その番号を書け。

- 1 微
- 2 横
- 3 像
- 4 察

問三 アに入る語句として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 叙述
- 2 転換
- 3 体現
- 4 克服

問四 祖父が話した波線部に近い様子を表す四字熟語として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 臨機応変
- 2 明鏡止水
- 3 勇猛果敢
- 4 泰然自若

問五 イに入る「傷んだり壊れたりしたものを、元通りにすること」という意味の語句として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 復活
- 2 復旧
- 3 復員
- 4 復帰

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

人工知能をつくるときに、よくたとえられるのが、飛行機の例である。人間は昔から空を飛びたいと思っていた。鳥のまねをするような「はばたく」飛行機を何度もつくろうとしたが失敗した。そして初めて成功したライト兄弟の飛行機は、エンジンを積んだ「はばたかない」飛行機であった。つまり、生物をまねしたいと思っても、必ずしも生物と同じようにやる必要はないのだ。

飛行機の場合は、鳥が飛ぶための「揚力」という概念を見つけ、揚力を得るための方法（エンジンで推進力を得て、翼でそれを揚力に変える）を工学的に模索すればよかった。人工知能においても、知能の原理を見つけ、それをコンピュータで実現すればよい。それが人工知能という領域のそもそもの出発点である。

人工知能の研究とロボットの研究をほぼ同じものと思っている人は少なくない。私の研究室を訪ねてこられる人も、半分くらいは人工知能とロボットの区別がついていない。しかし、専門家の間ではこの二つは明確に異なる。単純に言えば、ロボットの脳に当たるのが人工知能である。ロボット研究では、脳以外の部分を研究している研究者もたくさんいるので、ロボット研究者の全体ではなく、その一部分が人工知能研究者である。そして、人工知能の研究対象は、ロボットの脳だけではない。

たとえば、将棋や囲碁のように抽象的なゲームの研究では、ロボットのような物理的な身体は必要ない。また、医師の診断や弁護士の助言のような、入力した情報をもとに判断をする能力の研究にも身体はいらぬ。人工知能研究は、「考える」ことを実現するために、抽象的な「目に見えないもの」を扱っている学問と理解してよいだろう。

A

人工知能研究は、知能の実現に向けた長い旅であって、ある意味で、「フロンティア」を指す言葉でもある。したがって、人工知能研究者は、長い間、知能を実現するという夢を持って研究しながら、それがずっと実現できない人たちなのだ。

悲しい現実をずっと背負ってきたせいか、人工知能研究者は、明るく、楽観的で、権威や形式を嫌い、知的な刺激を愛する。人工知能学会という学者のコミュニティは、日本一リベラルな学会ではないかと思うほどである。人工知能学会の元会長で北陸先端科学技術大学院大学の溝口理一郎氏は「永遠の青年学会」と呼んだが、それほどフロンティア性の高い領域なのである。

長い歴史の中で、人工知能はこれまで紆余曲折を経てきた。人工知能自体はまだ実現していないが、そのための試行錯誤の副産物として、さまざまなものを生み出してきた。たとえば、「音声認識」「文字認識」「自然言語処理（かな漢字変換や翻訳）」「ゲーム（将棋や囲碁）」「検索エンジン」などは、すでに現実社会に大きなインパクトを与えているし、日常的に使われている。

これらがかつて人工知能と呼ばれていたが、実用化され、ひとつの分野を構成すると、人工知能と呼ばれなくなる。これは「AI効果」と

呼ばれる興味深い現象だ。多くの人は、その原理がわかってしまうと、「これは知能ではない」と思うのである。

人工知能はいまだ実現できないので、「知能の秘訣」は、われわれがまだ見ぬものの中にあるはずである。これが、「まだ見ぬ世界があるか」と旅を続ける、人工知能という研究分野の青年性であり、いつまでもフロンティアであり続ける理由である。

(松尾豊『人工知能は人間を越えるか』による。一部改変)

(注) 抽象的…頭の中だけで考えて現実性をもたないようす。 フロンティア：開拓の最前線。

リベラル…(物の見方などが)寛大であるようす。 紆余曲折：めんどろな事情があり複雑な経過をたどること。

副産物…生産をするときに目的の物ではないが得られる他の有用な産物。

AI効果…人工知能で新しいことを実現したときに、それを単なる自動化であって知能とは関係ないと思う心理効果。

問一 左の表は[A]の部分に書かれている内容について、「人工知能」と「ロボット」を対比させて整理したものの一部である。[ア]・[イ]

に入る最も適当な語句を、[ア]は[A]の部分から十字で抜き出して書け。[イ]は表の「人工知能の研究」の書き方に合わせて対義語を漢字三字で書け。また、[ウ]に入る内容を、表の「ロボットの研究」の書き方に合わせて、[A]の部分から十字で抜き出して書け。

		人工知能の研究	ロボットの研究
研究対象	[ア]部分。	ロボットの身体に当たる部分。	
研究内容	目に見えないもの(抽象的)。	目に見えるもの([イ])。	
研究目標	人工的な[ウ]。	工学的な「作用」を実現。	

問二 本文の中に 悲しい現実 とあるが、どういうことか。四十字以上、四十五字以内で説明せよ。

問三 この文章の展開について説明した文として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 人工知能とロボットの違いについて論じ、「まだ見ぬ世界」を追い求め実現できない研究者たちの惨状を訴えている。
- 2 鳥(生物)と飛行機(人工物)を例に、相容れないロボットの研究者と人工知能の研究者のあるべき姿を求め考えている。
- 3 人工知能研究から生まれた産物を「AI効果」によるものとして研究分野の青年性を保つ興味深い現象と分析している。
- 4 人工知能研究とは、「目に見えないもの」を扱っている学問だと説明した上で、いまだ実現できていないため「まだ見ぬ世界」を求め続けているのだと述べている。

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

【ここまでのあらすじ】太平洋戦争末期の夏、彼は小学生の三か月間ほど、疎開児童として海岸の小さな町で過ごした。同じく疎開児童の少女「ヒロ子さん」は二歳年上で弱むしな彼をよくかばってくれていた。あるよく晴れた昼時、町が空襲され、驚きあわてて逃げる彼を助けようとした「ヒロ子さん」は、米軍の艦載機により銃撃されてしまう。それから十数年振りにこの町を訪れた彼は、ある葬列と出会い、柩の上に置かれた遺影は当時のあの少女「ヒロ子さん」によく似ていた。

芋の葉を、白く裏返して風が渡って行く。葬列は彼のほうに向かってきた。中央に、写真の置かれている粗末な柩がある。写真の顔は女だ。それもまだ若い女のように見える。……不意に、ある予感が彼をとらえた。彼は歩きはじめた。

彼は、片足を畦道の土にのせて立ちどまった。あまり人数の多くはない葬式の人の列が、ゆっくりとその彼のまえを過ぎる。彼はすこし頭を下げ、しかし目は熱心に柩の上の写真のみつめていた。もし、あのとき死んでいなかったら、彼女はたしか二十八か、九だ。

突然、彼は奇妙な歓びで胸がしぼられるような気がした。その写真には、ありありと昔の彼女の面かげが残っている。それは、三十歳近くなったヒロ子さんの写真だった。

まちがいはなかった。彼は、自分が叫びださなかったのが、むしろ不思議なくらいだった。

—おれは、人殺しではなかったのだ。

彼は、胸に湧きあがるものを、けんめいに冷静におさえつけながら思った。たとえなんで死んだにせよ、とにかくこの十数年間を生きつづけたのなら、もはや彼女の死はおれの責任とはいえない。すくなくとも、おれに直接の責任がないのはたしかなのだ。

「この人、足は悪かった？」

彼は、群れながら列のあとにつづく子供たちの一人にたずねた。あのととき、彼女は太ももをやられたのだ、と思いかえしながら。

「ううん。悪くなんかないよ。からだはぜんぜん大丈夫だったよ」

一人が、首をふって答えた。

では、治ったのだ！おれはまったくの無罪なのだ！

彼は長い呼吸を吐いた。苦笑が頬にのぼってきた。おれの殺人は、幻影にすぎなかった。あれからの年月、重くおれをとりまきつづけていた一つの夏の記憶、それはおれの妄想、おれの悪夢でしかなかったのだ。

葬列は確実に一人の人間の死を意味していた。それをまえに、いささか彼は不謹慎だったかもしれない。しかし十数年間もの悪夢から解き放たれ、彼は、青空のような一つの幸福に化してしまっていた。……もしかしたら、その有頂天さが、彼にそんなよけいな質問を口に出させ

たのかもしれない。

「なんの病気で死んだの？この人」

うきうきした、むしろ軽薄な口調で彼はたずねた。

「このおばさんねえ、心の病気だったんだよ」

ませた目をした男の子が答えた。

「一昨日ねえ、川にとびこんじゃったのさ」

「へえ、失恋でもしたの？」

「バカだなあおじさん」運動靴の子供たちは、口々にさもおかしそうに笑った。

「だってさ、このおばさん、もうお婆さんだったんだよ」

「お婆さん？どうして。あの写真だったら、せいぜい三十くらいじゃないか」

「ああ、あの写真か。……あれねえ、うんと昔のしかなかったんだってよ」

涙<sup>はなみず</sup>をたらした子があとをいった。

「だってさ、あのおばさん、なにしろ戦争でね、一人きりの女の子がこの畑で撃たれて死んじゃってね、それからずっと変になっちゃったんだもんさ」

葬列は、松の木の立つ丘へのぼりはじめていた。遠くなったその葬列との距離を縮めようというのか、子供たちは芋畑の中におどりこむと、歓声をあげながら駆けはじめた。

たちどまったまま、彼は写真をのせた柩がかかるく左右に揺れ、彼女の母の葬列が丘を上って行くのを見ていた。一つの夏といっしょに、その柩の抱きしめている沈黙。彼は、いまはその二つになった沈黙、二つの死が、もはや自分のなかで永遠につづくだろうこと、永遠につづくほかはないことがわかっていった。彼は、葬列のあとは追わなかった。追う必要がなかった。この二つの死は、結局、おれのなかに埋葬<sup>まいそう</sup>されるほかはないのだ。

——でも、なんという皮肉だろう、と彼は口の中でいった。あれから、おれはこの傷にさわりたくない一心で海岸のこの町を避けつづけてきたというのに。そうして今日、せつかく十数年後のこの町、現在のあの芋畑をながめて、はつきりと敗戦の夏のあの記憶を自分の現在から追放し、過去の中に封印してしまつて、自分の身をかるくするためにだけおれはこの町に下りてみたというのに。……まったく、なんという偶然の皮肉だろう。

やがて、彼は **A** 駅の方角に足を向けた。風がさわぎ、芋の葉の匂いがある。よく晴れた空が青く、太陽はあいかわらず眩<sup>まぶ</sup>しかった。海の音が耳にもどってくる。汽車が、単調な車輪の響きを立て、線路を走って行く。彼は、ふと、いまとはちがう時間、たぶん未来のなかの

別な夏に、自分はまた今とおなじ風景をながめ、今とおなじ音を聞くのだろうかという気がした。そして時をへだて、おれはきっと自分の中の夏のいくつかの瞬間を、一つの痛みとしてよみがえらすのだろうか……。

思いながら、彼がアーケードの下の道を歩いていた。もはや逃げ場所はないのだという意識が、彼の足どりをひどく確実なものにしていた。<sup>③</sup>

(山川万夫 『夏の葬列』による。一部改変)

(注) 艦載機…米軍の戦艦から離陸する航空機。第二次大戦中、日本はこの機から銃撃をうけた。

疎開児童…戦争時、空襲などの被害をさけるために、都市から地方へと分散させられた児童。

畦道…田と田の間に土を盛って作った道。      アーケード…歩道の上にかけた屋根のようなおおい。

問一 本文中の **A** に入る最も適当な語句を、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 ゆっくりと
- 2 じっくりと
- 3 きつちりと
- 4 すっぱりと

問二 本文中の 青空のような一つの幸福 について、「どのような」様子なのかを説明したものとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 彼女は生きてはいたが足の負傷は紛れもなく自身のせいだと、がっくりしている様子。
- 2 柩の写真を見たことで銃撃をされた彼女の葬式だと確信をし、肩を落としている様子。
- 3 子供たちから女性のことを聞いて責任はないと不安をぬぐい、すっきりしている様子。
- 4 銃撃をされた彼女は心の病気で亡くなったということ聞き、安心感をえている様子。

問三 本文中の なんと という皮肉だろう      なんと という偶然の皮肉だろう      と繰り返す彼の心情を説明したものとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 一つの死は受け止めていたものの、思わぬ形で二つ目の死にも遭遇することとなった自身の運の悪さを呪っている。
- 2 あの夏の記憶と決別するために訪れたにも関わらず、かえって一生忘れられない記憶になったことに呆然としている。
- 3 記憶を封印するために訪れたものの、偶然葬列と出あい真相を知ったことで忘れてはいけななことだと覚悟を決めている。
- 4 「ヒロ子さん」のお母さんの写真を見たことで、大人になっていた彼女の姿を思い起こし謝罪の念がわいている。



**問四** 次の□の中は、本文中の彼の描写について、安藤さんと堂山さんが会話をしている場面である。□**ア**に入る最も適当な一文を、本文中から十二字で抜き出し、初めの五字を書け。また、□**イ**に入る内容を、本文中の言葉を用い二十字以上、三十字以内で書け。ただし、□**イ**は、受け入れた という語句を必ず使うこと。

安藤さん 彼の動作などの描写から気持ちや様子を読み取ることができるね。

堂山さん そうだね。□**①**「彼はすこし頭を下げ、しかし目は熱心に柩の上の写真をみつめていた。」や□**②**「奇妙な歓びで胸がしほられるような気がした。」からは彼の緊張や疑惑、興奮を読み取ることができるね。

安藤さん 私もそう思ったよ。人目を気にしつつも自身の中にある不安をぬぐいたいという気持ちが出ているね。その後、張りつめていた緊張から解放されたことも読み取れるよね。

堂山さん 本文のどの描写から緊張から解放されたと言えるの。

安藤さん □**ア**「□**ア**」という描写からそう言えるよ。

堂山さん なるほど。最後の□**③**「彼の足どりをひどく確実なものにしていた。」という描写からは、彼が、□**イ**様子を読み取ることができるね。

四

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

第二六段

心ときめきするもの。雀の子飼ひ。稚児遊ばす所の前渡る。よき薫き物たきて、一人臥したる。唐鏡の少し暗き見たる。よき男の車とどめて、案内問はせたる。頭洗ひ、化粧じて、香ばしう染みたる衣など着たる。ことに見る人なき所にも、心のうちはなほいとをかし。待つ人などのある夜、雨の音、風の吹きゆるがすも、ふと驚かる。

第七二段

ありがたきもの。舅に褒めらるる婿。また姑に思はるる嫁の君。毛のよく抜くる銀の毛抜き。主そしらぬ人従者。つゆの癖なき。かたち、心、ありさますぐれ、世にふるほど、いささかのきずなき人。同じ所に住む人の、かたみに恥ぢかはし、いささかの暇なく用意したりと思ふが、遂に見えぬこそかたけれ。物語、集など書き写すに、本に墨つけぬ。よき草紙などは、いみじう心して書けど、必ずこそ汚げになるめれ。男、女をば言はじ、女ども、契り深くて語らふ人の、末まで仲よき事、かたし。

〔枕草子〕による。一部改変

- (注) 薫き物…お香
- 舅…妻の父親
- かたち…見た目
- 暇…油断
- 言はじ…言うまい
- 唐鏡…中国の唐の時代の鏡
- 婿…結婚して妻の家系に入った男
- いささかのきずなき人…少しも非難されない人
- 草紙…本
- 契り…関係
- よき男…身分の高い男
- 姑…夫の母親
- いみじう…とても
- かたし…まれである
- 化粧じて…化粧をして
- 主そしらぬ人従者…主人の悪口を言わない使用人
- かたみに恥ぢかはし…互いに礼を尽くし
- 汚げになるめれ…汚れてしまうようだ

問一 本文中の なほいとをかし の読み方を、全て現代仮名遣いに直し、ひらがなで書け。

問二 次の  の中は、本文を読んだ武田さんと中村さんが会話をしている場面である。

武田さん 「第二六段」の文章は、作者である清少納言の心がときめくものについて書かれているね。

中村さん そうだね。すずめの子を飼うことや赤ちゃんを遊ばせているところに心をときめかせているのを見ると、現代の私たちとあまり変わらないのかも知れないね。だけど、「雨の音、風の吹きゆるがすも、ふと驚かる」とあるけれど、雨や風の音に心がときめくかな。

武田さん それは雨や風の音にときめいているのではなくて、**ア**に心をときめかせていることだと思うよ。直前に「待つ人などのある夜」とあるからね。

中村さん 確かにそれなら納得だね。では、「第七二段」の文章は清少納言がありがたいと思うものについて書かれているのかな。

武田さん いや、これは**イ**にないものについて清少納言の考えが書かれている文章だよ。ほら、「つゆの癖なき」とあるけれど、

これは全然欠点のない人という意味なんだ。全然欠点のない人なんて**イ**にいないでしょ。

中村さん なるほど。確かに、姑にほめられるお嫁さんの話や全然欠点のない人は清少納言がいう「ありがたきもの」というのは理解できたよ。清少納言は人間関係を良好に築き続けることが「ありがたきもの」と考えているみたいだね。でも、関係が深く親しくしている人とは上手く関係を築いていけると思うけどね。

(1) **ア**に入る語句として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 待っている人が来たかもしれないこと
- 2 強い雨風で明日が休みになること
- 3 待っていた人と過ごしていること
- 4 雨が降ることのできれいな花が咲くこと

(2) **イ**に入る語句を、ひらがな三字で考えて書け。

(3) 傍線部 関係が深くて親しくしている人 という意味を指す語句を「第七二段」の本文中から十字以内で抜き出せ。

問三 『枕草子』の「第二六段」と「第七二段」の本文の書き方に共通しているのはどのような書き方か。解答欄の語句に続くように、十字

以上二十字以内の現代語で考えて書け。

【資料】(表)

## T市のキャッチフレーズを考えよう!

私が考えるT市のキャッチフレーズ

※Aにはあなたが考えたキャッチフレーズを書きましょう。

A

■ 1と2を読んで、T市のキャッチフレーズを考えましょう。

### 1 T市のここがすごい!

○ 新鮮な海の幸!

綺麗な海に囲まれたT市には、新鮮な海の幸を求めて多くの人を訪れる。



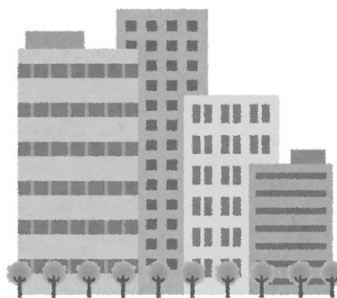
○ 天然温泉に入れる!

天然温泉が多数あり、若い方からお年寄りまで多くの人利用している。



○ 住みたい街No.1!

大都市のK市に近く、緑に囲まれた静かな住宅地の多いT市はとても人気になっている。



## 2 T市のよさについてインタビューした内容

質問 「T市のよいところはどこだと思いますか。」



住民

とても住み心地がいいところです。困ったときに助けてくれる人が多く、安心して生活することができます。



観光客

食べ物が多いし、自然も豊かで温泉もとても気持ちよかったです。必ずまた旅行したいと思います。



市長

住民の方々が笑顔で生活しているところです。地域のイベントも多く、皆さんの笑顔は見ていてとても気持ちがいいです。

問 T市は市民にキャッチフレーズを募集した。あなたならどのようなキャッチフレーズで応募するか。後の**条件1**から**条件4**に従い、

解答欄の最初と最後に示している文につながるように、発表原稿を書け。

**条件1** 文章は、二段落構成とすること。ただし、解答欄の最初と最後に示している文は段落には含まない。

**条件2** 【資料】を参考にして考えたキャッチフレーズを解答用紙の **A** に書いた上で、第一段落には、そのキャッチフレーズにした理由を、【資料】の中の**1**と**2**のそれぞれから必要とする情報を取り上げ、それらを結び付けて書くこと。

**条件3** 第二段落には、あなたの考えたキャッチフレーズの表現のよさについて書くこと。

**条件4** 題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。

平成三十一年度 国語 解答用紙

出身校	中学校
受験番号	
氏名	
得点	

一

問四	問一
問五	問二
問三	

二

問一	ウ	ア
問二		
問三		
問一	イ	

三

問一	問二	問三
問四	イ	ア

四

問一	問二	問三
(1)	(2)	(3)

五

私が考えるT市のキャッチフレーズ														
A														
私が考えるT市のキャッチフレーズは「A」です。														
これで発表を終わります。														

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。

※ ※印のところに  
なにも書いては  
いけません。